

事務事業評価シート(多可町教育委員会)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課 社会教育課	課長名 内橋 茂	記入者 内橋 茂
事務事業名		新規・継続 ☐ 新規 ☐ 継続	事業開始年度 20 年度 H19以前	完了予定年度 年度 未定
グラウンドの夜間照明料免除の実施				
事務事業の体系				
計画 掲載	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう生かそう		
	(基本計画) 生涯スポーツ充実			
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
多可町立公民館及び多可町立運動公園施設等使用料の減免に関する取扱要綱		☐ ソフト事業	施設の維持管理	
		☐ 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		☐ 建設・整備事業	計画などの策定	
青少年健全育成団体のグラウンド使用における夜間照明料を減免する。		補助金の支給 委託	☐ 有 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託 ☐ 委託なし(全部直営)	☐ 無

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
登録関係団体等	青少年	スポーツ等を通じて青少年の心身の健全な育成に寄与している青少年等を対象とする。

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名	一般	会計			
細目名	款	項	目	節	細目名	款	項	目	節
予算コード	13	1	6	2	予算コード	13	1	8	3

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	19年度 決算	20年度 実績(見込)	21年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総 コ ス ト						予算措置無し
コスト の内訳	直接事業費	千円				
	所属内間接費					
	投入人員 正職員 嘱託員	人/年				
財源 内訳	国・県支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源					

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>						
事務事業を構成する業務	手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	19年度 実績	20年度 見込	21年度 目標
1 登録申請受付	各町内各種青少年団体の申請により、内容を確認し決定をする。	申請による登録			17	17
2 申請書確認						
3 申請許可						
4						
5						

(ソフト事業)

事務事業名 [グラウンドの夜間照明料免除の実施]

6 事務事業の実績 <D0③>		19年度実績	20年度実績(見込)	21年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
登録数	チーム		17	17	スポーツ少年団、少年少女スポーツクラブ

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い		高くない		把握なし		
		緊急性は		高い	○ 高くない				
		利用者・対象者数は		増加		減少	○ 横ばい		
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は		ない		ある	把握なし		
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない		ある				
		国や県の事業(サービス)との重複は	○ ない		ある				
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○ ある				
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		ない	○ ある				
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	○ ない		ある		把握なし		
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	○ ない		ある				
		他の事業と統合できる可能性は	○ ない		ある		あるが困難		
民間や他の行政機関と連携できる可能性は		○ ない		ある		あるが困難			
	市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は	○ ない		ある		あるが困難			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		ない	○ ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		受益者負担を見直す余地は		ない	○ ある				
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで		ある		ない			
		前年より成果が上がって		いる		いない	横ばい		
	持続の 可能性	継続することによる効果は	○ 高い		高くない				
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて		いる	○ いない		測定困難		
		事業の休・廃止による住民への影響は		大きい	○ 大きくない				
市場化の 可能性		既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある				市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性			1.改善の余地はない			○	2.改善の余地がややある		
			3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>		今後の具体的な取り組み			
職場からの意見					
(施策を取り巻く環境) 青少年団体のスポーツ活動においては、夜間も利用多く照明料の負担のウェイトが高い。活動の活性化と健全育成の充実を図るため、照明料の減免を実施する。		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 青少年の活動のために継続が必要と思われるが、利用の際にはこの制度を充分理解していただき、節度ある利用の指導を行い、活発な活動を促す。			
(課題の解決についての提案) 青少年の健全育成活動するためには必要であるが、利用の際には減免の趣旨の理解を願いたい。					
		自己評価		3. 目標は達成されている。	
今後の方向性	1.重点的に継続	2.現状のまま継続	○ 3. 内容を見直しながら継続	4.縮小を検討	
	5.統合・連携を検討	6.休止・廃止を検討	7. 終了・完了		